

議会報告

〔発行者〕

市議会議員

渡辺 秀雄

荒井宇三本松21

☎ 33-5841

Fax 33-5851

Email : botansaita2007@gmail.com

Blog : http://hideo-watanabe.com/

市政状況報告（12月5日）

○防災行政無線再整備計画

システムの故障により白沢地区で戸別受信機による放送ができなくなっている。約30年経過していることから修繕が不可能な状態にある。今後コミュニティFMが本市にあることと、戸別受信機が最も安価であることから、戸別受信機は防災ラジオ、屋外拡声子局はデジタル化として整備計画を進める。

（総事業費 約4億5千万円）

《今後の方針》

- ①平成30年度に戸別FM防災ラジオを市内全域に導入
- ②平成31年度に白沢地区の屋外拡声子局のデジタル化
- ③平成32年度に本宮地区の屋外拡声子局のデジタル化

○JAふくしま未来と「地域見守り活動に関する協定」締結

昨年11月29日に、地域住民の異変の早期発見、早期対応ができる体制を構築するにより、事件・事故を未然に防ぎ、安心して暮らせる地域をつくることを目的に協定を締結した。同様の協定は生協コープふくしま、及びヤマト運輸(株)とも締結している。

○郡山広域圏連携推進協議会への参画

県人口の約3割、面積約2割を有するエリアとなる15の市町村が連携し、活力と魅力あふれる圏域づくりに取り組むため協議を進めていく。

○第二中学校グランド拡張造成工事が竣工し、学校に引き渡した

工事が竣工し11月28日に学校に引き渡した。県道からの連絡道路（甲斐2号線）の改良工事は、1月末には完成予定である。

（工事竣工直後の追加、手直し工事の補正予算計上は如何なものかとの指摘があった）

人事案件

人権擁護委員として**國分 進さん**（白岩・新任）を法務大臣に推薦することに同意しました。

※主な条例制定等

- 市税特別措置条例、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例、及び工業等団地地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部改正

法律の名称変更等に伴う用語の定義等所要の改正。

- 市議会議員及び市長等の期末手当等に関する条例の一部改正

期末手当支給の割合を年間（報酬、給料）の3.2月分から3.25月分に改正。

- 職員の給与に関する条例の一部改正

県人事委員会勧告に基づき、給料月額を平均0.1%引き上げ。期末、勤勉手当支給の割合を年間給料の4.25月分から4.35月分に改正。通勤手当の支給限度額の引き上げ。

- 一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

任期付き職員に係る給料、手当の改正。

◎ 議会と市民との意見交換会を実施

平成29年11月27-28日、市内4会場（えぼか、荒井公民館、白沢公民館、北町コミュニティセンター）で議会と市民との意見交換会が開催され、貴重なご意見を頂きました。

今後の議会活動の中に活かして行きたいと思えます。



（供用開始間近かな甲斐2号線）

一般会計予算

一般会計は、4億9,591万4千円増の148億7,822万7千円となりました。

(第6号、第7号は専決処分)

補正予算(第6号～第9号)の歳出の主な内容

・衆議院議員選挙費(専決処分)	16,421千円
・ホ－ルホテ－ィカウンタ－修繕料(専決処分)	15,120千円
・光ケーブル移設負担金	1,302千円
・柵形集会所法面修繕工事費	2,200千円
・市税等還付金(追)	3,000千円
・住民基本台帳システム改修委託料	4,472千円
・障がい者総合支援費(追)	5,651千円
・介護保険特会繰出金(追)	3,319千円
・キッズパーク物置設置工事	1,998千円
・民間保育所・保育園支援費(追)	5,500千円
・太陽光発電システム設置補助金(追)	1,600千円
・浄化槽維持管理費補助金(追)	2,100千円
・堆肥助成事業交付金(追)	5,057千円
・資源向上支払長寿命化交付金	3,889千円
・道路維持管理費(追)	11,100千円
・用悪水路維持改良費(追)	2,900千円
・総合体育館水道光熱費(追)	2,200千円
・市営住宅修繕料(追)	2,400千円
・市債繰上償還元金	325,005千円
・給与改定による給与等差額分	12,905千円

今回の一般質問から

除染について

○事業所、道路、森林除染の進捗状況は。年度内完了するのか。

【答弁】11月末現在 事業所除染は完了済。道路除染は69%、森林除染は87%で年度内完了予定である。

通学路の安全対策は

○通学路における道路標示の取り組みは。

【答弁】道路へのカラー舗装による視覚の環境改善は、交通事故減少に効果があると言われている。かなりの予算が必要なことから継続的に実施していきたい。

○田園地帯への街路灯の設置は。

【答弁】電柱の設置で電力会社との協議や田の所有者の協力を得ることで時間を要している。

南達振興協議会の取り組みは

○昭和38年に南達1町2村で設置された協議会であるが、東日本大震災以降一時休眠状態にあった。近ごろ再開されてきた、今後どのように取り組んでいくのか。

【答弁】交通、防犯、医療等あらゆる面で協議して進めている。方向性をまとめて行くことは大切なこと、今後取り組みを検討していく。

新年度予算編成にあたって

○交流人口の増加を地域の活性化にどう反映させるのか。

【答弁】市内の人が集う場所を点から線に結び付け、その中に物販をどう合わせていくか、内部検討し予算化できればと思う。

○高齢化社会に向かっている中、新年度力を入れていく分野は。

【答弁】どうすれば住み慣れた地域で、元気で暮らすことができるかという視点に立ち、健康増進、健康寿命の延伸や生きがいづくり対策に重点的を置き考えていきたい。

2018



あとがき

戌年は十二支の11番目で、季節でいうと晩秋にあたり、これまで時間をかけて育ててきた作物を収穫する時期で、結実を表す年であるといわれております。

一方で戌年は収穫を終えてひと息をつく季節でもあり、次なるステップへの準備の年とも位置づけられています。何かをガラリと変える仕込みの年でもあるわけです。物事の結実と、新しい出発、誕生に期待のもてる1年であることを願うものです。

平成30年を迎え昭和がだいぶ遠くなり、さらに来年には元号が変わろうとしています。

過ぎし年月が早く感じられるのは、団塊の世代の私ばかりではないと思いたいこの頃です。健康で長生きするためにはいろいろ言われておりますが、常に前向きに生きることだと考えております。

本宮に住んで良かった、本宮に住んでみたいと思われるような市政運営がなされるよう、皆さんの声を届けて行きたいと思っておりますので、今後ご支援のほどよろしくお願いを申し上げます。

今年が皆さまにとって良い年でありますようお祈り申し上げます。